

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	がん治療に伴う皮膚障害に対する多職種連携の取り組み
研究責任者	聖隷浜松病院 看護部管理室 大杉純子
研究実施体制	院内
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023年 12月 31日
対象者	2021年6月から2023年5月までの間に聖隷浜松病院耳鼻咽喉科・消化器内科・大腸肛門科でセツキシマブ、パニツムマブを外来で投与し、皮膚障害 Grade 評価と患者指導をおこなった患者さん。
研究の意義・目的	当院では、2020年に支持療法ワーキンググループが組織され、皮膚障害スモールグループが活動を始めました。皮膚障害スモールグループでは、がん治療に伴う皮膚障害に対し多職種で支持療法をおこなうための体制整備を行っています。その取り組みの一つとして、2021年度から外来通院でセツキシマブ、パニツムマブを投与する患者さんに対し、皮膚障害 Grade 評価と患者指導を実施して参りました。しかし、実施状況や内容について実態調査をしたことがありませんでした。そこで本研究は、皮膚障害グレード評価・患者指導が適切か振り返り、多職種連携を強化する目的で行います。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 年齢、性別、診療科、病名、皮膚障害グレード評価・患者指導に沿った時期に指導がされているか、薬剤指導と看護指導内容の詳細、皮膚障害のグレード、皮膚障害による投与薬減量の有無、スキンケア状況、スキンケア外来受診有無、多職種連携の内容など。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 (氏名)大杉純子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日